

都内視察

11月9日（火）

下記の3コースより各都市出席者の希望による選択制とし、希望のあった(2)及び(3)の2コースについて視察を行った。

- (1) 水道局研修開発センター
- (2) 大手町・丸の内・有楽町地区での環境への取組
- (3) 三鷹光器株式会社

大手町・丸の内・有楽町地区での環境への取組

官民が協調して取り組んでいる環境共生型のまちづくりの事例として、大手町・丸の内・有楽町地区の環境戦略拠点であるエコツェリア等を視察。同地区では、皇居の水と緑等の自然環境を活かすとともに、皇居と東京湾エリアを結ぶ「風の道」を考えたまちづくり、屋上や壁面の緑化、保水性舗装や高効率な地域冷暖房システムなど、まち全体でヒートアイランド対策を進めている。

当日は、「エコツェリア」において、まちづくりに関する説明を受けたあと、実証実験オフィスや周辺街区における壁面緑化等の取組、東京都が導入している環境対策型道路舗装などを視察した。

視 察 先：新丸の内ビルディング・エコツェリア及び周辺街区

参加都市：3都市（バンコク、ジャカルタ、マニラ）6名

視察概要：大手町・丸の内・有楽町地区再開発計画について説明
エコツェリア等の視察

- ・実証実験オフィス
輻射空調システム、知的照明、エアフロー・ウインドウ
- ・「触れる地球」（地球規模の気象や環境（CO2の排出量など）の変動が表示できる地球儀型ディスプレイ）体験
- ・ジオラマ・模型を使用した大丸有地区のまちづくりの説明
新丸の内ビルディング周辺の街並を見学
- ・壁面緑化、ドライミスト、保水性舗装等を徒歩で見学しながら丸の内パークビルディングへ



「触れる地球」



ジオラマによるまちづくりの説明



壁面緑化の取組を紹介

三鷹光器株式会社

都内企業の持つ優れたものづくり技術のPRの一環として、2005年東京都ベンチャー技術大賞優秀賞をはじめ、中小企業優秀新技術・新製品賞優秀賞並びに技術経営特別賞（2009年）、ものづくり日本大賞内閣総理大臣賞（2009年）等を受賞している三鷹光器株式会社を視察。

当日は、同社における精密医療機器及びその製作現場の視察後、同社が三鷹市等と連携して実施し、環境学習の場として提供しているビームダウン式太陽集光装置実証実験*の視察を行った。

視 察 先：三鷹光器株式会社、ビームダウン式太陽集光装置実証実験地

参加都市：4都市（クアラルンプール、シンガポール、ヤンゴン、トムスク）8名

視察概要：三鷹光器株式会社事業説明及び社内視察

- ・脳外科医療機器（脳神経外科用手術顕微鏡、医療用アーム）製作現場を視察
- ビームダウン式太陽集光装置実証実験の視察

* ビームダウン式集光装置実証実験

先端技術により太陽熱を効率的に集め、発電や海水の淡水化等、次世代のクリーンエネルギーとしての活用を目指す。三鷹光器株式会社が、三鷹市、NPO法人三鷹ネットワーク大学とパートナーシップ協定を結んで実施。



事業説明及び社内視察の様子



ビームダウン式太陽集光装置実証実験の視察

11月10日(水)

海の森での宇宙ケヤキ植樹

「海の森」は、東京湾に浮かぶ、ゴミと残土で埋め立てられた中央防波堤内側埋立地に30年間で48万本の苗木を植え、約88ヘクタールの美しい森に生まれ変わらせるプロジェクト。海から都心に向かう風の道の起点になるとともに、CO2を吸収して、地球温暖化を防ぐ。「海の森」では、募金を通じて苗木を購入していくとともに、苗木づくりから植樹、森の育成までを都民・企業などと協力して行っている。

植樹当日は、中央防波堤内側埋立地内海の森公園予定地において、4都市（バンコク、ジャカルタ、クアラルンプール、ヤンゴン）14名の参加者が、宇宙ケヤキ*の苗木の植樹を行った。

宇宙ケヤキ

平成20年6月1日～15日に宇宙航空研究開発機構（JAXA）の星出彰彦宇宙飛行士が搭乗したスペースシャトル「ディスカバリー号」に搭載されたケヤキの種子を、帰還後、東京都農林総合研究センターにて苗木に生育。



海の森



東京湾を背景に記念撮影



「宇宙ケヤキ」を植樹する参加者

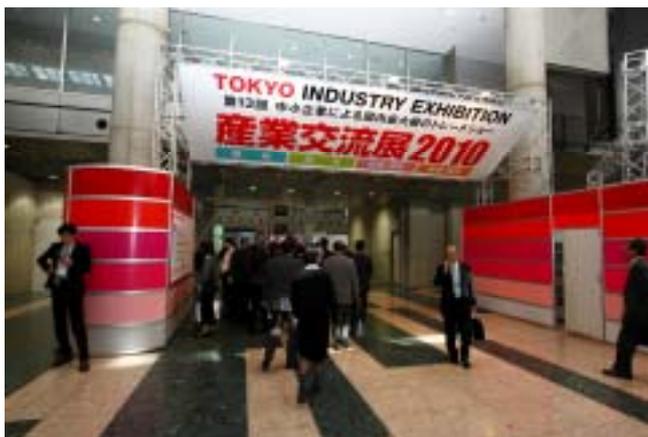
「産業交流展2010」の視察

首都圏の個性豊かな中小企業の優れた製品や技術を一堂に展示する国内最大級のトレードショーである「産業交流展2010」を視察。販路拡大、企業間連携の実現、情報提供・交換などのビジネスチャンスを提供することを目的として開催されている。本年は、「アジア大都市ネットワーク21第9回東京総会」の開催に合わせて、アジア企業が工業製品・技術を展示するとともに、アジア市場への進出を検討する中小企業を対象に、アジア各国の政府担当者や投資コンサルタントがビジネス相談に対応する「ANMC21・アジアゾーン」*が初めて設置された。

当日は、5都市（バンコク、ジャカルタ、クアラルンプール、台北、ヤンゴン）15名の参加者が、東京都ベンチャー技術大賞受賞企業等をはじめとする都内中小企業が持つ最先端の技術に触れるとともに、「ANMC21・アジアゾーン」の視察を行った。

* ANMC21・アジアゾーン

タイ、台湾、フィリピン、ベトナム、マレーシアの企業等31団体が工業製品・技術を紹介するブースを出展。アジアへの進出を検討している企業を対象に、各国政府の海外企業誘致セクションやコンサルタントによるビジネス相談を実施したほか、アジア市場進出のための基本的な情報やノウハウ等に関する「アジアビジネスセミナー」を開催。



「産業交流展2010」視察の様子



「ANMC21・アジアゾーン」を視察

<関連行事> 都市代表による都立小石川中等教育学校

アジア大都市ネットワーク21東京総会の関連行事として、6年一貫カリキュラムに基づく教育を進める都立小石川中等教育学校をバンコク都、トムスク州の二都市計8名が訪問し、授業風景などを見学したほか、都市ごとに2グループに分かれ、代表者によるスピーチ、生徒との質疑応答などのやりとりを行った。

訪問概要：授業風景を見学

小石川中等教育学校概要説明

各都市代表者によるスピーチ

バンコク：環境局大気・騒音監視係長

トムスク：トムスク州知事

* 小石川中等教育学校の特徴

- ・生徒はすべての教科・科目を学ぶことにより、単に受験のためではない「教養」を身につけている。
- ・6年一貫カリキュラムに基づき、理系文系には分けていない。
- ・文部科学省より「スーパーサイエンスハイスクール」(SSH)の指定を受けている小石川高校と一体になり、SSH研究開発実施計画に基づいた教育を推進している。
- ・生徒全員が海外語学研修、海外修学旅行を経験し、英語を用いた異文化理解の取組などが盛んに行われている。



授業風景の見学



各都市代表者によるスピーチ・質疑応答